1-2. 寸法図

1-3. 低温起動特性

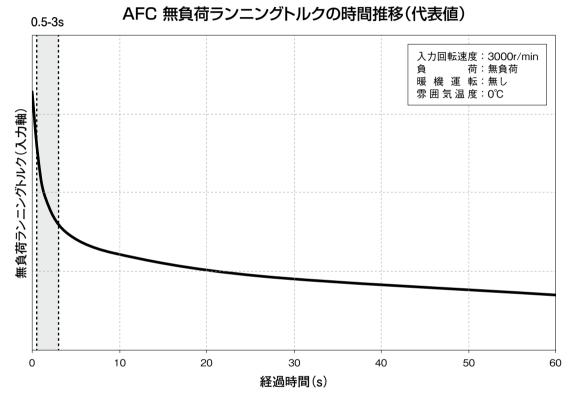
## 1-3. 低温起動特性(無負荷ランニングトルク(入力軸))

無負荷ランニングトルクとは、減速機を無負荷状態で定格入力回転速度(3000r/min)で回すために必要な入力軸トルクのことです。

減速機を低温時に使用すると、起動時の無負荷ランニングトルクが増加します。 運転を続けると、減速機温度の上昇に伴って無負荷ランニングトルクは減少します。

減少度合は、機種および、使用環境により異なります。

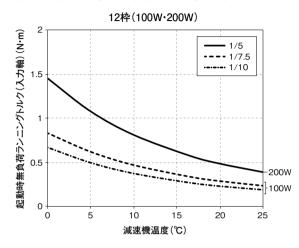
なお、下図は暖機運転を行わない状態での代表値です。

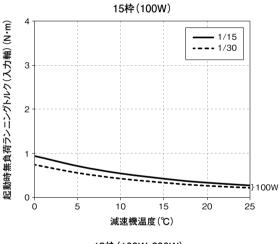


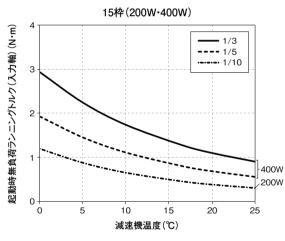
次頁の図は、各機種の無負荷ランニングトルクの0.5secから3sまでの平均値を示しています。

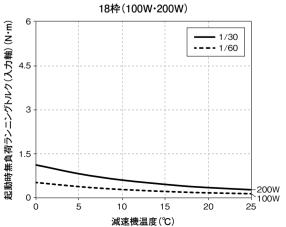
入力回転速度: 3000r/min

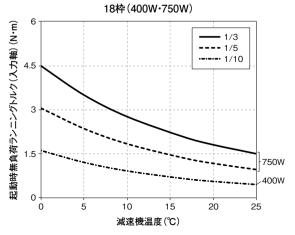
無負荷ランニングトルク(入力軸): 0.5-3s平均値 各図は暖機運転を行わない状態での代表値です。



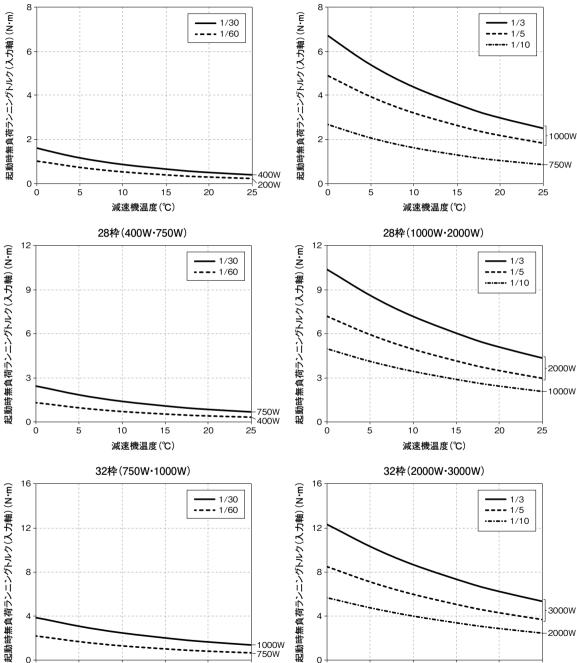








22枠(750W·1000W)



1000W

25

0

ò

5

15

10

減速機温度(℃)

20

22枠(200W·400W)

0+0

5

10

減速機温度(℃)

15

20

2000W

25